

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
1	前文	令和4年12月21日発行の豊田市議会自民クラブ議員団未来ビジョンⅣを尊重し、第9次総合計画ミライ実現戦略2030（以下「ミライ実現戦略2030」という。）を策定すること。	—	・ミライ実現戦略2030の策定に当たっては、「未来ビジョンⅣ」に掲げる「ひと」「くらし」「まち」の3つの視点及び「『つなげる』ことを意識したまちづくり」を尊重し、ますます変化が激しい予測困難な社会の中で、「ひと」のつながりや活躍を支援し、また、様々な資源と先進技術を融合しながら圏域をリードするまちを創る計画としている。なお、その実践においては、市民、地域、企業等と共働して推進していく。
2	前文	市民の安全・安心な暮らしを守る地元業者の経営が持続可能となるよう、普通建設事業費は300億円以上を確保すること。また、防災・減災に関する事業及び公共施設の維持管理に係る予算を十分確保すること。	—	・ミライ実現戦略2030における財政運営の基本方針として、普通建設事業費は300億円以上の確保を目指す。ミライ実現戦略2030に資する事業など、優先的・重点的に取り組む事業や、既に着手済みで早期に効果発現が期待される事業を中心に計画的に推進していく。
3	前文	災害時の応援協定を締結している地域建設業者を育成する入札制度を拡充すること。	—	・地域建設業者を育成する入札制度の拡充については、令和6年4月から公告する工事案件のうち総合評価方式（特別簡易型）において、「国家資格等の取得者」の評価項目を新設した。今後も、災害時の応援協定を締結している地域建設業者を含め、各事業者の育成を促す入札制度に努めていく。
4	前文	ミライ実現戦略2030策定に向けた別紙要望に十分配慮すること。	—	・ミライ実現戦略2030においては、取組方針として「ともにこどものミライに夢と希望をつくる」、「ともにミライにつながるまちをつくる」を掲げるとともに、「こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる」や「産業中枢都市として深化し続ける」など、5つの取組目標を掲げ施策を展開していく。 ・なお、策定に当たっては、別紙要望にも十分配慮し策定を行っている。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
5	前文	大規模な普通建設事業については、新設・更新事業を含めミライ実現戦略2030期間内の事業スケジュールを示すこと。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライ実現戦略2030に資する普通建設事業については、5年間で特に注力する取組の推進、継続事業の早期完了を基本に、毎年度事業調整を行う。</li> <li>・なお、ミライ実現戦略2030は取組の方向性を示す施策を明示し、事業やそのスケジュールは掲載をしない。</li> </ul>
6	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	地域自治システムの拡充	地域課題解決のための支所権限を強化すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライ実現戦略2030の施策「地域活動の持続可能性の向上」において、地縁組織や地域活動の再構築を推進するとともに、支所の機能について検討していく。</li> </ul>
7	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	子ども・子育て支援体制の充実	将来の豊田市が夢と希望の溢れるまちとして家族形成期世代の方々から選ばれ、定住・定着できるまちを目指し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制を充実させること。また、乳児の受け入れ枠や一時保育の拡大などの多様な保育ニーズに対応できる環境を整備すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライ実現戦略2030の施策「結婚・出産・子育て支援の充実」、施策「保育ニーズへの対応と良好な幼児教育・保育環境づくり」において、多様化する働き方・暮らし方のニーズを捉えた、成育環境の最適化の取組等を通じて、こどもや家庭の多様なニーズに対応できる環境を整えていく。</li> </ul>
8	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	在宅療養を支える体制の整備	さらなる高齢化の進展に向けて、できる限り安心して自分らしい生活を送れるように、様々な分野における在宅医療・在宅介護に携わる人材を確保・育成し、在宅療養を支える体制を整備すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療、在宅介護など在宅での暮らしを支える体制については、第8次総合計画において重点的に取り組み、整備を進めてきた。今後も、整備した体制を維持・改善するために必要な取組を適切かつ着実に推進していく。</li> </ul>

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
9	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	鉄道駅のバリアフリー化	1日当たりの平均的な利用者数が3,000人未満の鉄道駅についても、地域の事情に鑑み（高齢者、障がい者の利用を踏まえ）可能な限り実施すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅利用者数が3,000人/日以上の場合にバリアフリー化の義務が発生するが、基準を満たしていない駅は、鉄道事業者の任意である。</li> <li>・ バリアフリー整備の際は、鉄道事業者からの支援要請に基づき、国の補助制度の活用を検討し、連携を図っていく。</li> </ul>
10	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	豊田市公設地方卸売市場の建て替え整備	豊田市公設地方卸売市場は昭和57年の開場後、消費者のもとへの生鮮食料品の供給を担っているが、老朽化や冷蔵施設の位置が悪いなどの課題があるため、効率の良い動線を確保できるよう全面建て替え整備を行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミライ実現戦略2030の施策「市内事業者の持続可能性の向上に向けた取組の支援」において、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、総合的かつ計画的な管理や保全の視点を踏まえつつ、検討を進めていく。</li> <li>・ なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。</li> </ul>
11	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	鳥獣対策事業	近年、住宅街に進出しているイノシシやシカなどによる被害に対して、農地だけでなく住宅地の安全対策も含めた豊田市独自の新たな仕組みづくりや庁内体制の確立を行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野生鳥獣による被害に対し、市民が相談先に迷わないよう関連部署間で連携し、専門的な見地から鳥獣対策に資する取組を展開していく。</li> </ul>
12	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	毘森公園の再整備事業	緑の環境都市軸に基づき、中心市街地にある都市公園として毘森公園の既存供用区域にある野球場・弓道場・テニスコート・相撲場など設備及び道路など園内環境の再整備と、未供用区域を整備し、供用開始して全体が一体化利用できる公園環境の整備を行うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミライ実現戦略2030の施策「多様な人をひきつける中心市街地の魅力の向上」において、市域全体の公園の最適化を含め中長期的な視点で検討していく。</li> <li>・ なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。</li> </ul>

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
13	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	豊田藤岡インター周辺産業用地整備事業	東海環状自動車道豊田藤岡インター周辺における産業用地の創出を行うこと。	・ミライ実現戦略2030の施策「産業用地の創出」において、高速道路のインターチェンジ周辺などの産業誘導エリアにおける産業用地整備の推進を図っていく。
14	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	名鉄三河線の複線化に伴い、猿投駅までの特急名鉄三河線の延伸	名古屋駅との移動時間短縮に向けた複線化事業に加え、猿投駅まで特急列車を延伸すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「都市間・拠点間の連携を支える交通ネットワークの強化」において、名鉄三河線の速達化による名古屋へのアクセス性向上を位置付け、検討していく。
15	1. 地域住民の目線に立ったまちづくり	矢作緑地周辺整備事業	水辺プロジェクトを推進し、毘森公園から中央公園までの緑の環境都市軸、また勘八公園や平戸橋公園などの矢作川兩岸の緑地公園整備を行うこと。	・ミライ実現戦略2030の施策「多様な人をひきつける中心市街地の魅力の向上」において、緑の環境都市軸について検討を進めていく。 ・また、施策「社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化」において、その他の公園におけるストック機能の向上について検討していく。 ・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。
16	2. 安全・安心のまちづくり	消防・救急救急体制の強化	消防施設・資機材・消防車両の整備充実に加え、消防指令システムの更新や先進技術の活用など、消防対応力の充実強化を図ること。 また、救急救命士・救急隊員の着実な育成等と、医療機関とのDX連携により、救急活動能力の向上や高度な救急処置が可能な搬送体制を構築を図ること。	・安全・安心に係る消防・救急体制の強化については、適切かつ着実に推進していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
17	2. 安全・安心のまちづくり	火災予防の促進	高齢者を中心とした家庭における防火意識の向上を図るとともに、住宅や事業所における防火対策を促進し、火災予防の促進を図ること。	・安全・安心に係る火災予防の促進については、適切かつ着実に推進していく。
18	2. 安全・安心のまちづくり	消防団の充実強化	消防団員確保に向けた取組と消防団施設・装備等の充実を図ること。	・ミライ実現戦略2030の施策「地域力発揮による防災力の強化」において、消防団を始めとした地域力による災害対応力の強化を図っていく。
19	2. 安全・安心のまちづくり	市民の生命・財産を守る上下水道施設の防災・減災対策の推進	大規模地震や河川氾濫など自然災害に備えて、上下水道施設の耐震化・耐水化や、市街地における下水道・雨水施設の整備を進めること。	・ミライ実現戦略2030の施策「防災・減災を支える基盤づくり」において、上下水道施設の耐震化・耐水化や水災害の激甚化・頻発化に対応する流域治水の取組を推進していく。
20	2. 安全・安心のまちづくり	交通事故抑止対策の推進	交通安全施設の整備を図ること。 高齢者等の交通事故対策、交通安全教育の展開を図ること。	・交通安全施設整備の更なる充実や各年齢層・交通手段に応じた交通安全教育・啓発活動について、着実に推進していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
21	2. 安全・安心のまちづくり	防災・減災対策の推進	災害対策本部機能の強化・維持を図ること。 自助・共助・公助による防災対策を推進すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「地域力発揮による防災力の強化」において、本市を取り巻く大規模な自然災害のリスクを想定した災害対応力の強化を図っていく。
22	2. 安全・安心のまちづくり	豊田市版 防災集団移転促進事業	災害危険区域地区を始め住民の居住に適当でないと認められる区域内にある住居の「集団移転」を促進し、防災のための集団移転の促進事業を展開することで災害指定区域内に住む方々の安全・安心の確保及び定住施策を進めること。	・ミライ実現戦略2030の施策「防災・減災を支える基盤づくり」において、安全・安心の確保に係る取組の検討を行っていく。
23	2. 安全・安心のまちづくり	学校教育環境の整備	安全・安心な給食提供とアレルギー対応給食の全市拡大ができるよう、老朽化した平和・足助給食センターの早期建て替えを行うこと。 また、気候変動による暑さ対策等、体育館、武道場の環境を整備すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「多様な学びに対応した最適な教育環境づくり」において、学校施設の利用状況等を踏まえた教育環境の向上を図っていく。
24	2. 安全・安心のまちづくり	健康づくりにおけるマイナンバーの利活用	マイナンバーのさらなる利活用により、健康診断や歯科検診、服薬情報などを紐付けし、それらを一元管理することで、日頃は生活習慣病対策や健康づくり、食育等に生かすとともに、救急医療提供時には迅速な対応が取れる体制を整備すること。	・マイナンバーの利活用など、デジタル化、DXの推進については、必要な取組を適切かつ着実に推進していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
25	2. 安全・安心のまちづくり	安定的・効果的なごみ処理体制の整備	老朽化が進んでいるごみ処理施設、特に藤岡プラント、逢妻衛生プラント及び砂川衛生プラントは前回の整備から相当の期間が経過しているため、安定稼働を維持できるよう修繕・延命化、または更新をすること。	・安全、安心なごみ処理体制を継続するため、各施設の老朽化及び稼働状況を見極めながら、適正な時期に必要な修繕、延命化、または更新を進めていく。
26	2. 安全・安心のまちづくり	盛土等による災害等の防止に向けた取組	豊田市宅地造成及び特定盛土等規制法施行条例が令和5年に制定される中で、早急に調査を開始し安心できる仕組みづくりを早期に進めること。	・ミライ実現戦略2030の施策「暮らしを守る自然環境の適正な保全」において、災害リスクを踏まえ、盛土等の適正化を図っていく。
27	3. 次世代の確かな育成	生涯スポーツのまちづくりの推進	部活動の地域移行を踏まえた生涯スポーツ社会を実現するための地域公共施設（小・中学校の体育館・グラウンド及び照明施設等、地域体育館）の整備・改修や、学校管理上における学校と地域使用スペースを明確にし、セキュリティ対策を万全なものとし、全ての部活動が活動しやすくするための整備・改修を行うこと。	・ミライ実現戦略2030の施策「地域資源を生かした「遊び・学び・体験」の機会の充実」及び施策「多様な学びに対応した最適な教育環境づくり」において、部活動の地域移行を始め、「とよた地域クラブ活動」の取組を進めるとともに、必要な整備・改修などの環境づくりを進めていく。
28	3. 次世代の確かな育成	ミュージアムの魅力向上と収蔵庫増築整備	豊田市博物館は開館とともに美術館との連携を強化し、民芸館を含めたミュージアムとしての活動の充実と魅力向上を図る必要がある。中でも作品を収集保管し次世代へと継承することはミュージアムの根幹に係る大切な活動である。特に開館約30年を経た美術館においては、本市の文化芸術の拠点施設として、既存の公共施設の有効活用も含めた作品収集を行い、収蔵スペースを確保すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「まちの歴史・文化・芸術や自然等をミライにつなぐ取組の推進」において、博物館等を拠点とした、市民がまちの歴史・文化・芸術や自然に触れるための取組を検討していく。 ・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
29	3. 次世代の確かな育成	スポーツ環境整備事業	国際大会の誘致や大規模スポーツイベント開催を見据え、関連した既存スポーツ施設整備をしていく予算を確保し、また実業団の合宿等にも対応できるような規格で各種施設の検討を進めるとともに、それらを推進していく組織体制を構築し、地域の活性化・スポーツのまち豊田を目指していくこと。	・ミライ実現戦略2030の施策「まちの歴史・文化・芸術や自然等をミライにつなぐ取組の推進」において、スポーツ資源を生かした取組を検討していく。
30	3. 次世代の確かな育成	総合テニス場整備事業	テニスは健康寿命を延ばすスポーツと言われ、豊田市においても会員数が増加しているため、健康とスポーツの視点で、また、国際大会の誘致も見据えてテニス場を整備すること。また、既存のスポーツ施設にあるテニス場の中には照明施設が完備されていないところもあるため、併せて照明施設を整備すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「まちの歴史・文化・芸術や自然等をミライにつなぐ取組の推進」において、スポーツ資源を生かした取組を検討していく。 ・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。
31	3. 次世代の確かな育成	市営住宅の老朽化対策	老朽化した市営住宅の建て替えや、大型公共事業と連携した市営住宅の整備を促進すること。また、建て替え時には、家族形成世帯や独居世帯へ対応できる環境を整備すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化」において、市営住宅を始め、公共施設等の最適化の視点を踏まえ、取組を検討していく。
32	3. 次世代の確かな育成	農地利用の最適化及び農業経営の効率化や高付加価値化の推進	環境にやさしい農業の推進を行うため、スマート農業への事業推進支援を行うこと。また、平野部における農地の集約化と地域特性に応じた営農体制の確立や、6次産業化を進め、自立した農業を産業化する取組を支援すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「市内事業者の持続可能性の向上に向けた取組の支援」において、農業経営の効率化や高付加価値化に向けた取組を推進していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
33	3. 次世代の確かな育成	過密人工林の健全化と林業従事者の確保育成及び、デジタル技術等新たな技術の導入	森林の団地化と林業用路網の整備を進めるため、林業従事者の育成、また、新技術導入により働く環境の改善を行うこと。	・ミライ実現戦略2030の施策「市内事業者の持続可能性の向上に向けた取組の支援」において、林業従事者の確保育成を始め、森林施策の検討を進めていく。
34	3. 次世代の確かな育成	デジタルツインの確立	道路整備や災害対策など多様に活用できる3次元点群データを活用したデジタル豊田市を構築すること。	・デジタル化、DXの推進について、必要な取組を適切かつ着実に推進していく。
35	4. 都市部と農山村地域の共生	山村地域の低利用施設の効果的な再整備による地域活性化事業	旧合併町村時代からの既存市有財産において、敷地周辺の自然環境や広域スペースなどを有効利用した観光施設やレクリエーション施設として再整備することは雇用の創出にもつながる。また老朽化した未使用の公共建物を取り壊し、宅地などに整備することも有効である。観光拠点づくりや都市部の子育て世代の受入れ、地元子育て世代と高齢者との交流の場づくりなど活用用途は多様であるため、都市部と山村部の関係人口の推進や地域の活性化、さらには定住促進につなげる拠点を整備すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「山村部の持続可能な暮らしの仕組みづくり」において、各地区の特性に応じたまちづくりやコミュニティ維持を推進するとともに、生活拠点に必要な暮らしを支える機能や住民同士の支え合いによる暮らし機能（生業づくり、移動、買い物等）の構築に向けた仕組みづくりについて、取組を検討していく。
36	4. 都市部と農山村地域の共生	移住・定住の促進	山村地域の過疎化対策のための空き家を発掘すること。 民間事業者との連携による宅地供給を推進すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「山村部の持続可能な暮らしの仕組みづくり」において、空き家や空き地等の発掘及び既存ストックの活用を図るほか、居住促進地区を中心に移住・定住の促進に向けた取組を検討していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
37	4. 都市部と農山村地域の共生	基幹交通の維持・利活用と生活交通の再構築	高齢者等の交通弱者に対する公共交通のあり方を改善し、住み慣れた地域で快適に暮らせるよう、既存ネットワークの維持と利用促進策を展開すること。また地域住民による生活交通の新たな仕組みをつくること。	・ミライ実現戦略2030の施策「都市間・拠点間の連携を支える交通ネットワークの強化」において、公共交通による拠点間のアクセスを確保するとともに、施策「社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化」において、地域の生活交通について住民共助による移動支援を推進し、市民が安全で快適に移動できる環境づくりに向け検討を進めていく。
38	4. 都市部と農山村地域の共生	足助地域核エリア再生事業（足助支所庁舎改築）	持続可能な山村地域への転換を目指し、足助地域核エリアを中心に、空き家等を活用した事業創出やまちづくりの担い手の確保に取り組むこと。また、足助地域核に生活機能を維持し、地域を活性化させる上で重要な拠点となる支所機能の検討を進め、早期の支所庁舎の改築・移転を行うこと。	・ミライ実現戦略2030の施策「山村部の持続可能な暮らしの仕組みづくり」において、各地区の特性に応じたまちづくりやコミュニティ維持を推進するとともに、生活拠点に必要な暮らしを支える機能や住民同士の支え合いによる暮らし機能（生業づくり、移動、買い物等）の構築に向けた仕組みづくりについて、取組を検討していく。 ・また、施策「社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化」において、山村地域の拠点となる所など公共施設の在り方について、周辺施設を含め検討を進めていく。
39	5. 快適住居のまちづくり	土地利用構想の実現に向けた拠点における戦略的土地利用の推進	超高齢社会と人口減少の到来に備え、また自動車産業の大改革時代の動向を見据え、活力ある都市として持続的な成長を実現するため、都市基盤を生かした居住や産業等戦略的な土地利用、さらには、土地区画整理事業や市街化調整区域内の地区計画など民間主導による土地開発に伴うインフラ整備などへの行政支援を含めて効果的な土地利用を推進することによって、これまで常態的に続いてきた転出超過を抑制するための宅地供給を創出する全市的な土地利用のグランドデザインなどを策定し、その施策を実行すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「都市部の利便性の高い暮らし環境の充実」において、拠点への集積や「えきちか居住誘導エリア」への居住誘導に必要な取組を推進していく。 ・また、施策「産業用地の創出」において、企業立地ニーズが高く、集積を目指す高速道路のインターチェンジ周辺などの産業誘導エリアにおける産業用地整備を推進していく。
40	5. 快適住居のまちづくり	市民生活と産業を支える上下水道施設の基盤強化	上下水道施設の老朽化対策を確実に進めるとともに、効率的な水運用を図ることを目的とする上下水道施設の統廃合を進めること。また、未普及解消アクションプランに基づく、公共下水道整備と合併処理浄化槽の普及促進を進めること。	・ミライ実現戦略2030の施策「社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化」において、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づく、総合的かつ計画的な管理や保全の視点を踏まえ、検討を進めていく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
41	5. 快適住居のまちづくり	持続可能な上下水道事業経営の基盤強化	今後の財源・歳出の見通しを的確に把握するとともに、広域化や共同化の取組を推進し持続可能な経営基盤を確立すること。また、効率的・効果的な事業運営を確立するため、DXの推進や、包括的民間委託など民間活力の導入を進めること。	・ミライ実現戦略2030の施策「社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化」において、広域化や共同化のほか、官民連携による運営体制の検討を進めていく。
42	5. 快適住居のまちづくり	ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の推進	カーボンニュートラル実現に向けて設定したチャレンジ目標である2030年CO <sub>2</sub> 排出量2013年度比50%削減の達成に向けて、水素ステーションの再整備や民間による急速充電機普及促進、風力発電所再整備をはじめ、太陽光発電などあらゆる手段を講じること。	・ミライ実現戦略2030の施策「脱炭素社会の実現に向けた市民の行動の促進」、施策「脱炭素社会の実現に向けた事業者の取組の促進」、施策「脱炭素社会の実現を先導する公共の取組の推進」において、地域社会の持続可能性を高め、良好な環境を次世代に引き継ぐため、市民・事業者・行政を含めた「オールとよた」で、具体的な行動を進める取組の検討を進めていく。
43	5. 快適住居のまちづくり	廃棄物適正処理の推進	令和9年度に閉鎖が予定されている産業廃棄物最終処分場の後継施設の整備を進めること。	・安全、安心なごみ処理体制を継続するため、各施設の老朽化及び稼働状況を見極めながら、適正な時期に必要な修繕、延命化、または更新を実施していくを進めていく。 ・廃棄物の適正処理について、必要な取組は、適切かつ着実に推進していく。 (公益財団法人豊田加茂環境整備公社が運営する御船産業廃棄物処分場の閉鎖は、令和17年3月末を予定)
44	5. 快適住居のまちづくり	第2期中央公園の整備促進	第2期中央公園整備では、南側の先行整備区域の土地買収も完了し基盤造成工事が令和5年度から始まる。今後は、次期整備区域の調査を速やかに開始し、用地買収及び中央公園全体の構想を確定すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化」、施策「多様な人をひきつける中心市街地の魅力の向上」において、公園の在り方について検討していく。 ・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
45	5. 快適住居のまちづくり	豊田市駅東口における大屋根の整備	中心市街地活性化推進のため、豊田市駅東口の駅前広場ににぎわい創出やイベント開催のための大屋根を整備すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライ実現戦略2030の施策「多様な人をひきつける中心市街地の魅力の向上」において、拠点連携型都市の中核として、人を惹きつける魅力ある中心市街地を形成する必要がある、取組の検討を進めていく。</li> <li>・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。</li> </ul>
46	5. 快適住居のまちづくり	幹線道路ネットワークの構築	拠点間地域核の鉄道駅へのアクセス道路整備や、交通の円滑化、安全・安心の確保を図る都市内2環状道路や8放射道路の整備が推進されているが、今後も南北バイパスや都市計画道路及び市内各地域を結ぶ都市道路ネットワークを早期に構築すること。また、自民クラブ議員団が要望している、事業化されていない都市計画道路の早期事業化を実現すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライ実現戦略2030の施策「都市間・拠点間の連携を支える交通ネットワークの強化」において、広域連携、拠点間連携、産業の強化のほか、拠点へのアクセス性向上につながる道路ネットワークの形成を推進していく。</li> </ul>
47	5. 快適住居のまちづくり	人口増対策事業の確立	子育て世代が他市に移住している現状を打破するためにも、魅力のあるまちづくりを構築し、子育て世代が安心して定住できる仕組みや事業を推進すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライ実現戦略2030の施策「結婚・出産・子育て支援の充実」、施策「保育ニーズへの対応と良好な幼児教育・保育環境づくり」において、多様化する働き方・暮らし方のニーズを捉えた、成育環境の最適化の取組等を通じて、こどもや希望する家庭が安心できる環境づくりに向け取組を推進していく。</li> <li>・また、施策「都市部の利便性の高い暮らし環境の充実」において、若者や子育て世帯が住みたい・住み続けたいと思える市となるため、居住の支援や民間事業者と連携した取組を推進していく。</li> </ul>
48	5. 快適住居のまちづくり	第2期鞍ヶ池公園整備事業	未着手である第2期鞍ヶ池公園整備事業を実施すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライ実現戦略2030の施策「社会環境の変化に適応する暮らし機能の最適化」において、公園の在り方や更なる魅力向上について検討していく。</li> <li>・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。</li> </ul>

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
49	6. 活力ある産業都市	農業従事者の担い手育成事業	農業従事者が高齢化する中、地産地消を支える基幹連携を進めると同時に耕作放棄地を防ぐための担い手確保対策を講じること。	・ミライ実現戦略2030の施策「市内事業者の持続可能性の向上に向けた取組の支援」において、担い手の確保に必要な取組を推進していく。
50	6. 活力ある産業都市	市内産業の担い手の確保	新事業創出支援を含め、中小企業の人材確保や、育成支援・就労支援体制を構築すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「多様な人材の活躍と柔軟な働き方を実現する人材戦略への支援」において、企業における人的資本経営の強化に向けた支援機能の構築を図るほか、地域産業の担い手確保に必要な取組を推進していく。
51	6. 活力ある産業都市	ものづくり産業の高度化と成長産業の創出	新産業も含め、豊田市に企業を誘致するため、企業立地の確保や設備投資への支援策を充実すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「ミライを支える産業の創出と育成」において、地域産業の持続的発展に向け、事業者の新たなチャレンジを後押しする取組を推進していく。
52	6. 活力ある産業都市	(都) 西岡吉原線道路事業	豊田市南西部を東西に結ぶ幹線道路として、東西方向の交通機能強化を図ることで産業の発展につなげ、併せて、既存集落へ流入している大型車の排除により地域住民の安全確保を図るため、1工区から4-2工区の道路整備を着実に推進していくこと。	・ミライ実現戦略2030の施策「都市間・拠点間の連携を支える交通ネットワークの強化」において、広域連携、拠点間連携、産業の強化のほか、拠点へのアクセス性向上につながる道路ネットワークの形成を推進していく。 ・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
53	6. 活力ある産業都市	(都) 勘八狭第2工区整備事業	平成13年に都市計画決定された外環状線と西広瀬の工業団地をつなぐ路線を整備すること。	・施策「都市間・拠点間の連携を支える交通ネットワークの強化」において、広域連携、拠点間連携、産業の強化のほか、拠点へのアクセス性向上につながる道路ネットワークの形成を推進していく。 ・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。
54	6. 活力ある産業都市	竹村駅周辺の整備事業	名鉄三河線の複線化に併せた駅舎の改修、駅前広場の整備及び接続道路の拡幅整備を行うこと。	・ミライ実現戦略2030の施策「都市間・拠点間の連携を支える交通ネットワークの強化」において、拠点間の相互連携を支える公共交通として、交通結節点の環境改善の取組を検討していく。 ・なお、個別事業については、財政計画を踏まえて毎年、予算化について検討していく。
55	7. 自立できる自治体の確立	山村地域の人口を確保するための、地域資源を活用したまちづくりの推進、及び山村条例に沿ったおいでん・さんそんプランの積極推進	山村地域の振興に向けた「(略称)山村条例」の理念及びおいでん・さんそんプランを推進していくため、多様な主体との共働により、山村地域の魅力、資源を活用した移住・定住や教育、交流・関係人口の拡大などに向けた、空き家空き地活用、小学校区定住促進ビジョン及び2戸2戸作戦宅地分譲事業による宅地供給、山村地域活性化住宅の新設などの施策を実行すること。	・ミライ実現戦略2030の施策「山村部の持続可能な暮らしの仕組みづくり」において、各地区の特性に応じたまちづくりやコミュニティ維持を推進するとともに、生活拠点に必要な暮らしを支える機能や住民同士の支え合いによる暮らし機能(生業づくり、移動、買い物等)の維持に向けた仕組みづくりについて、次期おいでん・さんそんプランを策定する中で必要な取組を検討していく。
56	7. 自立できる自治体の確立	より効率的・効果的な行政運営に資する新たな公会計制度の導入	現在の会計制度である単式簿記・現金主義会計に複式簿記・発生主義会計を加えることで、市が所有する財産である「ストック情報」及び減価償却費なども含む正確な「コスト情報」を明らかにし、より効率的・効果的な行政運営を行うことができる新たな公会計制度の導入に向けた調査・研究及びシステム導入に向けて取り組むこと。	・国の研究会や他自治体の活用状況についての情報を整理し、より効率的・効果的に公会計制度を活用するための調査・研究を進め、適切かつ着実に推進していく。

豊田市議会自民クラブ議員団 「第9次総合計画ミライ実現戦略2030策定に向けての要望書」 への回答

通番	種別	要望事項	要望内容	回答
57	7. 自立できる自治体の確立	デジタル技術を活用した効率的、効果的な質の高い行政運営の推進	<p>① デジタル強靱化戦略に基づき、質の高い行政運営を推進するために、デジタルを生かした手続きと、ユーザー目線の視点を踏まえて、研究・実証に取り組み、早期実現を図ること。さらに、これらの取組を支える「各種ツールの導入・利活用及び業務の見直し」については、全庁一体的に推進すること。</p> <p>② デジタル強靱化戦略の各種取組は今後の本市のデジタル化を加速させるものであり、特にデータの利活用はデジタル化を支えるだけでなく本市の政策立案を進めるために必要であるため、積極的・戦略的かつ将来を見据えた取組を実施すること。</p>	<p>・デジタル化、DXの推進について、必要な取組を適切かつ着実に推進していく。</p>
58	7. 自立できる自治体の確立	時代に即したコンピュータシステムの効果的利用の推進と情報セキュリティの維持向上	<p>① 今後自治体においても利活用が進む予定であるクラウドサービス等の新たな技術の導入を見据え、効率性、利便性、安全性の高いシステム基盤を整備（システム導入やメンテナンス）すること。</p> <p>② テレワークやオンライン会議など多様化する業務形態や巧妙化するサイバー攻撃等に対応するため、時代に即した情報セキュリティ対策を実施すること。</p>	<p>・デジタル化、DXの推進について、必要な取組を適切かつ着実に推進していく。</p>
59	7. 自立できる自治体の確立	古瀬間聖苑の拡充	火葬スペースの拡張、葬儀会場の増築および駐車場の立体化を含めた拡張など、火葬需要の増加に備える整備を進めること。	<p>・みよし市の動向を踏まえ、必要となる取組について検討していく。</p>
60	7. 自立できる自治体の確立	豊田市の玄関口としての、中心市街地の賑わい創出及び観光産業の確立	東口駅前広場に、大型モニターや観光案内所を設置し、豊田市全体の観光産業を支援していくこと。 また、エリアマネジメントの支援や駅前広場の活用を行いながら年間事業を確立し、中心市街地のにぎわいを創出する人材を育成すること。	<p>・ミライ実現戦略2030の施策「多様な人をひきつける中心市街地の魅力の向上」において、拠点連携型都市の中核として人を惹きつける魅力ある中心市街地を形成する必要があるため、取組の検討を進めていく。</p>